

2019年度事業報告

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

2019年11月に中国の武漢市で発症した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、翌2020年1月31日に、世界保健機構（WHO）が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言、日本では2月27日に全国一斉の小中高校の臨時休校が要請され、4月7日には7都府県で緊急事態宣言、4月16日には全国一律の緊急事態宣言となった。また、3月30日には、東京2020五輪・パラリンピックの開催も1年後の2021年同時期（パラリンピックは2021年8月24日～9月5日）に延期された。この事象により、2020年2月～3月に予定されていた東京2020パラリンピック水泳日本代表選手選考戦などの事業を中止せざるを得なくなる等、多大の影響を受けた。

このため、事業報告については2020年2月及び3月は事業実施がストップしたことにより、実質2019年4月～2020年1月までの事業実施報告が中心となっている。

さらには、収束への見通しが立たず世界・日本経済も大打撃を受け、企業収益の悪化や失業率の増加など当連盟を取り巻く環境は見通せなくなり、2020年度計画も見直しが必要となっている。

2019年度は、「一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟」として活動を開始してから7年度目の年であり、スポーツ庁の「競技力強化のための今後の支援方針（鈴木プラン）——2020年以降を見通した強力で持続可能な支援体制の構築——」において、2019年度から2020年度は「ラストスパート期」と位置付けられた初年度でもあり重要な年であったが、2020年度も含め、感染症対策を踏まえ、スポーツ活動・イベントを含めた社会の在り方、生活様式など大きな見直しが行われることとなった。

このような大きな激動の中にあるが、2019年度に実施した主な事業について報告をする。

本年度も2017年度事業で策定した当連盟のビジョン「パラ水泳 PI/VI 中・長期計画（2017～2024）——2020 レガシーと新たな共生社会からの飛躍を目指して——」のアクションプランを基に着実に事業を進めた。

アクションプランにおいて、「1 トビウオパラジャパン PI/VI 強化・育成・発掘」の分野では、強化戦略プランに基づいて事業を実施した。

強化戦略プランにおいては、2018年までの諸外国の状況と日本の状況を分析しながら東京2020参加枠の獲得、選手のクラス確定などのための海外遠征を積極的に行った。また、7月に拠点オープンとなったナショナルトレーニングセンター・イーストの活用を積極的に行った。

また、2016リオパラリンピックの結果や目前の東京2020パラを見据えて、世界パラ水泳連盟（WPS）主催のロンドン2019世界パラ水泳選手権大会で、金5、銀5、銅5 計15個（ビジョンでは金2、銀3、銅7 計12個）を獲得するという目標をかかげ、選手強化に取り組んだ他、強化育成選手の養成を40名、発掘選手では12歳未満をターゲットに育成するビジョンの計画の基に取り組んだ。その結果、世界選手権では、金1、銀7、銅3 計11個のメダルを獲得した。また、次世代の育成事業が新たに日本スポーツ振興センター事業として採択された他、日

本スポーツ協会からの J - S T A R 事業委託による発掘選手の育成などを展開し若年層の強化育成に努めた。

2016 リオパラリンピックでは、メダル総数は5個であったものの金メダルがゼロに終わり、今回の世界選手権の結果において、金メダルは獲得したものの東京 2020 パラに向けて厳しい結果となっており、戦略の見直しが必要となった。このため9月21日付で東京 2020 パラに向けて監督などを含めた準備役員を新たに選考し、体制の強化を図った。

「2 指導者」の分野では、昨年度に引き続き、公認指導者のパスウェイ構築に取り組むとともに、オンライン教育教材の開発と展開や研修制度を導入、充実を図った。また、パラリンピックサポートセンター事業助成により昨年度の「コンディショニング教本」に引き続き、選手にも指導者にも参考になるテキスト「パラ水泳ジュニア指導教本——はじめの第1歩」を作成した。

「3 競技役員」の養成については、東京 2020 パラとその後に向けて、世界パラ水泳連盟講師を招くなど国際と連動した公認競技役員制度の構築及び研修、実践訓練をビジョンに基づいて取組んだ。その結果、国際レベル3の資格者1名を養成することができた他、国際レベル2の競技役員も総数60名を養成し、各競技会において実践訓練を行い東京 2020 パラへの準備を着実に進めた。

「4 競技大会」については、国際に準じた大会への運営改善、パラ選手が参加できる一般大会モデルの普及などに積極的に取り組んだ。例年W P S 公認の大会としている6月神戸市民選手権大会に加え、7月の兵庫県民選手権大会、8月静岡県東部高等学校新人大会、10月スイミングクラブ協会ブロック大会などの他、福岡県などでも一般大会への参加が進められ、大きく理解が進んだ。日本パラリンピック委員会との共催である9月横浜で開催のジャパンパラ水泳選手権大会では、3日間の開催とし、海外選手の受け入れなども行い、より魅力のある大会と進化した。11月千葉県で開催の第36回日本パラ水泳選手権大会では、身体選手の参加が過去最大になった他、アジア新記録なども樹立、競技力の高まりを見せた。また、東京 2020 パラのレガシーとして国際大会の開催可能性調査を行った。

「5 普及・発掘・会員増」については、地域連盟への助成などを行うことにより会員数の増加や若年層の普及活動を展開すべく、取り組んだ。また、東京 2020 パラ1年前交流事業として「ゆるプル交流事業」を富士水泳場で行った。その結果等、競技会参加会員数は701名と法人化後過去最大人数となった。

「6 組織基盤」としては、多岐にわたる事業を展開していることもあり、これまでの連盟活動歴史の整理を行った他、特にガバナンス・コンプライアンスを重視し、選手・役員などへの研修にも取り組み、責任ある組織として毅然とした対応を進めた。

さらに財政の健全化を目指し、東京 2020 パラ以降の業務改善検討を行うとともに広報・ブランディングにも力を入れ、魅力あるグッズづくり、LINE スタンプなどの展開を図った。このような努力と支援者の理解により協賛金収入の増加につながる一方、強化事業費の適正執行に努めたことや2020年3月開催の東京 2020 パラリンピック水泳日本代表選手選考戦中止などによる費用減等により16,848,769円の黒字決算となった。

<主な取り組み>

I 競技会の開催及び支援・後援事業

1. 地域連盟による大会を開催支援

競技運営指針などを示すとともに、連盟からの参加者増加対策支援助成及び役員派遣などを行った。

2019年6月2日(日)	第29回東北身体障がい者選手権水泳競技大会
2019年6月30日(日)	第33回関東身体障がい者水泳選手権大会
2019年7月7日(日)	第26回中部障がい水泳選手権大会
2019年6月16日(日)	第30回近畿身体障がい者水泳選手権大会
2019年6月2日(日)	第25回中国四国身体障がい者水泳選手権大会
2019年6月16日(日)	第30回九州障がい者水泳選手権大会

2. 2019 ジャパンパラ水泳競技大会の共催及びロンドン 2019WPS 水泳選手権大会日本代表報告会

2019年9月21日～23日横浜国際水泳場で開催。共催として役員派遣や大会運営に寄与するとともに、ロンドン 2019WPS 水泳選手権大会日本代表報告会を実施した。この大会には、日本代表選手と対抗できる海外選手を招待し、スペイン・韓国・ラオス・オーストラリア・シンガポールのトップ選手ら19名（知的選手を含む）が参加した。

3. 第36回日本パラ水泳選手権大会の開催等

2019年11月22・23日 千葉県国際総合水泳場で開催。

女子178人、男子343人、合計521人の参加、メディア33社193名と昨年を上回った。昨年に引き続き世界パラ水泳連盟（以下「WPS」という。）の公認大会とし、9月に行われたロンドン 2019WPS 水泳選手権大会のメダリスト及び2019年度にアジア新記録を樹立した12名の選手を優秀選手として表彰した。大会では、アジア新記録1、日本新記録11、大会新記録67が樹立されるなどレベルの高い大会となった。

また、日本選手権大会の開催地確保への取り組みを推進し、次回の第37回大会を宮城県利府のグランディ21水泳場で開催することに決定した。

※本事業に対して独立行政法人日本スポーツ振興センターから4,106,000円の助成金を受けた。

4. 2020 パラ水泳春季記録会兼東京パラ大会日本代表選手選考戦の開催

2020年3月6日(金)～8日(日)の3日間開催を静岡県富士水泳場で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策から直前に中止となった。

記録会終了後に行われる予定であった東京パラ推薦選手選考委員会も中止、日本代表選手の推薦は延期された。

5. 公益財団法人日本水泳連盟加盟団体である日本障がい者水泳協会への参画と活動を展開したほか、パラアーティスティックスイミングフェスティバル、知的障がい者水泳競技大会、ろう者水泳大会など他団体開催事業への後援等を実施した。

II 競技力向上事業

1. 強化・育成選手等合宿

(1) 強化代表選手合宿

<ロンドン 2019 世界パラ水泳選手権大会日本代表合宿>

代表合宿 2019 年 4 月 4 日 (木) ~8 日 (月) 国立スポーツ科学センタープール

事前合宿 2019 年 8 月 29 日 (木) ~30 日 (金) 国立スポーツ科学センタープール

海外合宿 2019 年 8 月 31 日 (土) ~9 月 5 日 (木) イギリス

(2) 強化・育成 S 指定選手合宿

2019 年 4 月 27 日 (土) ~5 月 5 日 (日) 国立スポーツ科学センタープール

2019 年 8 月 10 日 (土) ~18 日 (日) ナショナルトレーニングセンター・イースト

2019 年 8 月 23 日 (金) ~25 日 (日) 静岡県富士水泳場

2019 年 9 月 24 日 (火) ~27 日 (金) ナショナルトレーニングセンター・イースト

(3) 強化指定選手合宿

第 1 回 2019 年 7 月 26 日 (金) ~28 日 (日) 神戸ポートアイランドスポーツセンター

(4) 育成選手合宿

○育成全体合宿

第 1 回 2019 年 5 月 3 日 (金) ~6 日 (月・祝) 神戸しあわせの村

第 2 回 2019 年 6 月 8 日 (土) ~9 日 (日) 神戸ポートアイランドスポーツセンター

第 3 回 2019 年 8 月 13 日 (火) ~16 日 (金) 神戸しあわせの村

第 4 回 2019 年 10 月 18 日 (金) ~20 日 (日) スイムピア奈良

(5) 東御市高地合宿

第 1 回 2019 年 10 月 25 日 (金) ~11 月 1 日 (金) 長野県湯ノ丸高原交流館

(4) 発掘選手

○パラサポ発掘事業

パラサポの助成事業として、東・西・南のエリアに所属する発掘選手とトライアル選手を対象に、エリアキャンプを各 2 回実施した。

<東エリア合宿>

第 1 回 2019 年 7 月 13 日 (日) 東京都多摩障害者スポーツセンター 参加 8 名

第 2 回 2019 年 11 月 30 日 (土) 川越市総合福祉センター 参加 11 名

<西エリア合宿>

第 1 回 2019 年 6 月 1 日 (土) スイムピア奈良 参加 14 名

第 2 回 2019 年 11 月 2 日 (土) 福井県営水泳場 参加 14 名

中級指導者資格修得講習会併催 受講者 2 名

<南エリア合宿>

第 1 回 2019 年 5 月 11 日 (土) 福岡市立障がい者スポーツセンター 参加 14 名

第 2 回 2019 年 10 月 26 日 (土) アクシオン福岡・福岡市立障がい者スポーツセンター
参加 13 名

○中央合宿

連盟単独事業として発掘選手を対象に 2 回実施した。

第 1 回 2019 年 8 月 3 日 (土) スイムピア奈良 参加 14 名

第 2 回 2019 年 10 月 26 日 (土) スイムピア奈良 参加 16 名

○奈良県パラリンピックタレント発掘・育成事業（水泳競技）

奈良県・奈良県体育協会から委託を受けて、アスリートが育成される道筋（アスリート育成パスウェイ）における入口の「競技にチャレンジする機会と場」を提供するとともに、今までのパスウェイ事業で培った指導者を活用し、奈良県の人材で継続できる仕組み作りを目指す。

「世界に飛び出せ！障がい者水泳タレント発掘イベント2019」の開催

2019年11月9日（土） スイムピア奈良 参加者15名

○J-STARプロジェクト

2期生 奈良県体育協会が事業主体として受託

(1)拠点県合宿

対象者4名 4月～10月まで合計5回 スイムピア奈良、しあわせの村
(測定会全体1次審査116名、水泳希望31名、最終選考5名)

(2)巡回指導・居住県指導による日常練習環境準備

対象者4名 4月～10月まで合計105回

(3)2期生修了式

2019年12月14日 ジャパン・オリンピック・スクエア

(4)実行委員会

2019年10月19日 スイムピア奈良 J-STAR実行委員会終了

3期生 当連盟が事業主体として受託

(1)2次測定会と選出者

2019年9月8日（日） 九州会場（アクト福岡）4名測定、通過0名
2019年9月22日（日） ジャパンパラ大会と同日のためNF不参加
2019年10月21日（日） 京都アクアリーナ 6名測定、通過2名
2019年11月4日（日） 横浜ラポール 10名測定、通過6名
測定会全体109名、水泳希望23名 NF選考会へ8名通過

(2)1次選考会

2019年11月16日（土） 大阪市長居障がい者スポーツセンター
通過者8名 4名参加＋書類選考4名選出

(3)2次選考会

2019年11月18日（月） オリンピックスクエア 4名選出決定

(4)合宿

12月～2月 2回実施、3月は新型コロナ感染症対策にて中止

(5)居住地指導

1月～3月上旬まで実施 合計23回

(6)指導者講習会

2020年3月14日 J-STAR指導者講習会 in 奈良 中止

(7)実行委員会

2019年12月20日 第1回実行委員会 J-STAR実行委員会立ち上げ

2020年3月19日 第2回実行委員会 中止

○健常大会への参加、普及、啓発

(1) 2019B & G全国ジュニア水泳競技大会(記録の公認)

2019年8月17日(土) 東京辰巳国際水泳場 発掘選手6名参加

(2) 第39回J S C Aブロック対抗水泳競技大会(記録の公認)

2019年10月12日(日) 浜松市総合水泳場 ToBiO 育成選手9名参加台風のため中止

(3) 第42回全九州スイミングクラブ夏季水泳競技大会(記録の公認)

2019年8月31日(土) 佐世保市総合グラウンド 九州連盟選手7名

(4) 第62回福岡県民体育大会夏季大会

2019年8月18日(日) 筑豊緑地プール 九州連盟選手6名

2. 海外大会等への派遣

(1) 2019W P S世界選手権大会派遣

<開催地> イギリス・ロンドン

<派遣期間> 2019年9月9日(月)～15日(日)

<参加人数> 選手8人、スタッフ12人

*当初、マレーシア・クチンで予定されていた世界選手権大会は、政治的な理由により開催時期も合わせロンドンに変更になった。

(2) 2019ワールドパラシリーズ大会派遣①

<開催地> イギリス・グラスゴー

<派遣期間> 2019年4月21日(日)～4月30日(火)

<参加人数> 選手5人、スタッフ5人

(3) 2019ワールドパラシリーズ大会派遣②

<開催地> シンガポール

<派遣期間> 2019年5月5日(日)～5月14日(火)

<参加人数> 選手11人、スタッフ10人

(4) 2019ワールドパラシリーズ大会派遣③

<開催地> ドイツ・ベルリン

<派遣期間> 2019年6月1日(土)～6月11日(火)

<参加人数> 選手16人、スタッフ11人

※上記1～2の事業に対し、発掘選手事業を除き、独立行政法人日本スポーツ振興センターの競技力向上事業の選手強化活動事業として49,000,000円、次世代アスリート育成強化事業として2,680,000円の助成金を受けた。

3. 大会視察等

2019年11月22日(金)～24日(日)

ジャパンパラ水泳選手権大会強化・育成指定選手視察 スタッフ5人

2019年9月11日(水)～9月15日(日)

2019年ロンドンW P S世界選手権大会事前視察 スタッフ2人

4. 会議等の開催

(1) 2019強化・育成・発掘担当者会議

2019年4月13日(土)～14日(日) こうべ市民福祉交流センター

(2) 東京 2020 強化推進拡大会議

2019年10月6日(日) ナショナルトレーニングセンター・イースト

(3) 東京 2020 強化推進会議

第1回 2019年6月17日(月) 日本財団パラリンピックサポートセンター

第2回 2019年8月19日(月) 当連盟板橋事務所

第3回 2019年10月30日(水) ナショナルトレーニングセンター・イースト

(4) パラ水泳トレーナー会議及び派遣

第1回 2019年11月10日(日) ナショナルトレーニングセンター・イースト

日本パラ水泳選手権大会トレーナー派遣 千葉県国際総合水泳場

2019年11月22日(金)～11月24日(日)

(5) 大会におけるレース分析

ジャパンパラ大会 2019年9月20日(金)～23日(月・祝) 横浜国際プール

日本パラ水泳選手権大会 2019年11月22日(金)～11月24日(日)

千葉県国際総合水泳場

5. 強化指定選手制度・育成指定選手制度の運用

この制度は暦年で指定を行っている。

強化指定選手 21 人、育成選手 31 人、合計 52 人 (2020 年 3 月 1 日現在) を指定

W P S ライセンス登録者数 81 人 (2020 年 3 月 31 日現在)

強化育成選手説明会及び教育研修会

強化及び育成 S 選手—2020 年 1 月 19 日 (日)

ナショナルトレーニングセンター・イースト研修室

育成選手—2020 年 1 月 11 日 (土) 日本財団ビル研修室

保護者、所属関係者同伴研修、連盟ビジョンと強化育成方針、強化育成選手制度の説明、世界パラ水泳の動向、助成金の取り扱い、コンプライアンス等

<2019 年 (2019 年 1 月～12 月) 優秀選手>

ロンドン世界選手権メダリスト : 木村敬一、富田宇宙、鈴木孝幸、辻内彩野

アジア新記録樹立 : 木村敬一、富田宇宙、鈴木孝幸、斎藤元希、小池さくら、江島大佑、辻内彩野、保田星願、窪田幸太、浦田愛美、西田杏、一ノ瀬メイ

※上記 2～5 等の事業に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センターの競技力向上事業の選手強化体制整備事業として 8,761,000 円の助成金を受けた。

6. 次世代ターゲットスポーツ育成事業

新たに日本スポーツ振興センター事業として採択され、2024 年・2028 年とメダル獲得を目指せる若年層選手を指定し強化育成に努めた。

III 指導者研修会の開催と普及

1. 公認障がい者水泳指導員資格修得講習会初級 Step1

2020 年 1 月 18 日 (土)

JPC 競技別指導者助成事業、しあわせの村あおぞら会議室・プール 受講者 47 人

2. 公認障がい者水泳指導員資格修得講習会初級 Step2

2020 年 1 月 19 日 (日)

神戸市社会福祉協議会と共催、しあわせの村あおぞら会議室・プール 受講者数 45 人
J-STAR 事業や 2018 年 PW 事業での指導者講習会 (Step1 相当) を受講した者を含む

3. 公認中級障がい者水泳指導員資格修得講習会
2019 年 11 月 2 日 (土) 福井県営水泳場 受講者 2 名
4. 2020 年度指導者登録数 初級 58 名(内更新 7 名) 中級 8 名
5. 競技別指導者講習会 (公認競技役員養成研修会)
2019 年 12 月 7 日 (土) ~8 日 (日)
JPC 競技別指導者助成事業、宮城県障害者福祉センター 受講者数 19 名
6. パラ水泳啓発・教育のページ開設と運用
連盟 HP に表記コンテンツを 8 月 30 日に開設、パラ水泳に参加してみよう(無料)、パラ水泳競技入門(有料)、身体障がい者水泳基礎教材(指導者講習会用)を掲載、閲覧、運用している。
7. 国際オフィシャル資格レベル 2 競技役員国際大会運営研修会
東京パラリンピック及びその後を見据えて、世界パラ水泳競技規則に基づく大会運営に対応できる国内の競技役員を養成するため、W P S より Susan Prasad 氏らを招聘し、W P S 競技規則及び競技会運営について実践研修を行った。
 - ・ 9 月 21~23 日ジャパンパラ水泳競技大会一研修会と実践
 - ・ 11 月 23~24 日第 36 回日本パラ水泳選手権大会一研修会と実践
 - ・ 3 月 6~8 日富士春季記録会一研修会と実践 (新型コロナウイルス感染症対策で中止)国際レベル 2 の資格を得た各県水泳連盟及び当連盟等から推薦された研修生が昨年引き続き実践研修に参加

IV 法人運営事業

1. 広報及び組織ブランド化事業
 - ・ 親しみのあるパラッシーを 40 の LINE スタンプとして展開
 - ・ 缶バッジ・キーホルダー等パラッシー新グッズも提携により販売
 - ・ 新パラ水泳 P R 動画「たたかえ、個性で」を制作
 - ・ 東京都観戦促進事業により、スイミングマガジンへの大会広報掲載、ポータブル連盟フリー Wi-Fi サービスなどを展開し、大会時の魅力づくりを行った。
 - ・ 日本パラ水泳選手権等におけるユーチューブ配信なども引き続き実施した。
2. 組織体制の強化・充実
 - スポンサー・パートナー協賛企業 9 社
 - コンプライアンスオフィサーの養成、ガバナンスコードへの対応構築を推進
 - 東京 2020 以降業務改善計画提案事業の実施
 - 連盟活動の歴史等整理編集事業の実施

- (1) 2019年度競技会参加会員数
女子 217 人、男子 484 人、合計 701 人
団体登録数 119 団体
- (2) 技術支援会員
4 年間の会費 8 千円で制度として位置付け
2020 年 3 月 31 日現在、77 人が登録
- (3) 正会員 6 名
- (4) 役員 (2020 年 3 月 31 日現在)
理事 21 名 (うち理事長 1 名、常務理事 6 名)
- (5) 事務局 (2020 年 3 月 31 日現在)
本部事務所 5 名
東京オフィス (板橋事務所含む。) 3 名

3. 総会・理事会・委員会等

(1) 第 1 回理事会

2019 年 6 月 22 日 (土) 神戸・三宮研修センター会議室

<決議事項>

第 1 号議案 2018 年度事業報告について

第 2 号議案 2018 年度収支決算について

第 3 号議案 基金の返還及び代替基金への積み立てについて

第 4 号議案 規程の一部改正及び制定について

(一部改正)

事務分掌規程、コンプライアンス委員会規程、コンプライアンス規程、
相談窓口設置規程、処分規程

(制定)

アスリート委員会規程、女性アスリート等支援委員会規程

第 5 号議案 定款の一部改正について

第 6 号議案 任期満了に伴う理事 21 名の選任について

第 7 号議案 東京において事務所として使用する不動産の取得について

第 8 号議案 2019 年度定時総会の招集について

<報告事項>

1. 2019 年度事業計画及び予算の進捗状況について

2. 東京パラリンピック 2020 に向けた選手強化及び大会運営の方向性について

3. スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>答申について

4. パラ水泳 PI/VI 中・長期計画 (2017~2024) の一部改定について

5. 強化戦略プラン (2019 年度版) について

(2) 定時総会

2019 年 6 月 29 日 (土) 連盟本部事務所

<報告事項>

1. 東京 2020 に向けて選手強化及び大会運営の方向性について

2. パラ水泳 PI/VI 中・長期計画 (2017~2024) の一部改定について

<決議事項>

- 第1号議案 2018年度事業報告及び収支決算について
- 第2号議案 基金の返還及び代替基金への積み立てについて
- 第3号議案 定款の一部改正について
- 第4号議案 任期満了に伴う理事21名の選任について

(3) 第2回理事会

2019年6月29日(土) 連盟本部事務所

<決議事項>

- 1. 役職理事の選定について(理事長(代表理事)1名、常務理事6名)
- 2. 特別職である会長の推挙について
- 3. 各委員会の委員長及び委員の決定について
技術委員会、ガバナンス・コンプライアンス委員会、アンチ・ドーピング委員会、
東京2020強化推進委員会、アスリート委員会

<報告事項>

- 1. スポーツ・コンプライアンスの遵守について
- 2. 理事・監事の情報共有ツールの変更について

(4) 第3回理事会

2020年1月5日(日) 神戸・三宮研修センター会議室

<協議事項>

- 1. 河合純一会長の日本パラリンピック委員会委員長への就任について
- 2. コンプライアンス規程等違反事象に係る協議4件審議
- 3. 委員会委員等の指名について
 - (1)東京2020強化推進委員会委員等(東京2020強化推進委員会規程に基づく)
 - (2)指導者等資格検定委員会委員長及び委員
(公認障がい者水泳指導員等資格規程に基づく)
- 4. 理事1名の選任について
- 5. 臨時総会の招集について

(5) 臨時総会

2020年1月18日(土) 連盟本部事務所

<決議事項>

- 第1号議案 理事解任について
- 第2号議案 理事1名選任について

(6) 第4回理事会

2020年2月8日(土) 神戸国際会館セミナーハウス会議室

<決議事項>

- 第1号議案 2019年度収支補正予算案(決算見直し含む。)
- 第2号議案 2020年度事業計画案
- 第3号議案 2020年度収支予算案
- 第4号議案 技術支援会員規程の一部改正について

第5号議案 2019年度第2回臨時総会の招集について

<報告事項>

報告1 ロンドン2019世界パラ水泳選手権大会の報告及び強化戦略プラン等東京
2020パラリンピックに向けた今後の取り組みについて

報告2 2019年度事業の進捗状況報告（昨年12月まで）について

- ①会員の状況（競技会参加会員、技術支援会員）
- ②地域大会の開催状況
- ③日本パラ水泳選手権大会の実施状況
- ④JPC・JSPO事業関連
 - ア ジャパンパラ水泳競技大会
 - イ ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト（J-STAR）
- ⑤JPC（JSC）助成事業関連事業
 - ア 競技力向上事業（選手強化活動）
 - イ 競技力向上事業（次世代アスリート育成強化）
 - ウ 競技力向上事業（体制整備）
 - エ 競技別指導者講習会助成事業
- ⑥JSC・JPC等委託事業
 - ア 次世代育成事業
 - イ ジャパンパラ水泳競技大会海外選手招へい事業
 - ウ 奈良県発掘事業
- ⑦日本財団パラリンピックサポートセンター事業
 - ア ガバナンス強化事業
 - イ 人材育成事業
 - ウ 普及啓発事業
 - エ 広報・マーケティング事業
 - オ パラ水泳春季記録会・日本代表選考戦

⑧連盟単独事業

- ア JPSF公認中級障がい者水泳指導員資格修得講習会
- イ JPSF発掘事業中央キャンプ

報告3 2020年1～3月の事業見通しについて

- ①指導者講習会
- ②強化・育成関連事業（新強化・育成指定選手、育成合宿等）
- ③パラ水泳春季記録会・日本代表選考戦

報告4 2020年度の日程概要について

報告5 前理事の事案について

<その他>

- (1)スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査について
- (2)競技力向上事業助成金におけるNF組織運営におけるフェアプレーガイドラインセルフ
チェックリストの提出・評価結果及びその対応について
- (3)東京2020以降の当連盟の在り方について
- (4)当連盟のあゆみの整理について

(7) 第2回臨時総会

2020年2月15日(土) 当連盟本部事務所

<報告事項>

報告1 2019年度収支補正予算(決算見通し含む。)

報告2 2020年度事業計画

報告3 2020年度収支予算

報告4 ロンドン2019世界パラ水泳選手権大会の報告及び強化戦略プラン等東京
2020パラリンピックに向けた今後の取り組みについて

4. 委員会

2019年6月17日(月)	東京2020強化推進委員会
2019年6月29日(土)	危機管理委員会
2019年6月29日(土)	ガバナンス・コンプライアンス委員会
2019年7月13日(土)	アスリート委員会
2019年8月19日(月)	東京2020強化推進委員会
2019年10月19日(土)	ガバナンス・コンプライアンス委員会(電子メールによる)
2019年10月30日(水)	東京2020強化推進委員会
2019年11月23日(土)	ガバナンス・コンプライアンス委員会
2019年12月3日(水)	東京2020強化推進委員会
2020年1月5日(日)	ガバナンス・コンプライアンス委員会
2020年2月27日(木)	臨時常務理事会・危機管理委員会(電子メールによる)

5. 運営委員会

2019年4月1日~2020年3月31日の間

理事長、常務理事、事務局との打ち合わせをメールも含め、随時行った。